

本丸 EX v2 Ver.2.6.252.1 以降
新機能 操作マニュアル

作成者：石田データサービス株式会社

版数：第 1 版

目次

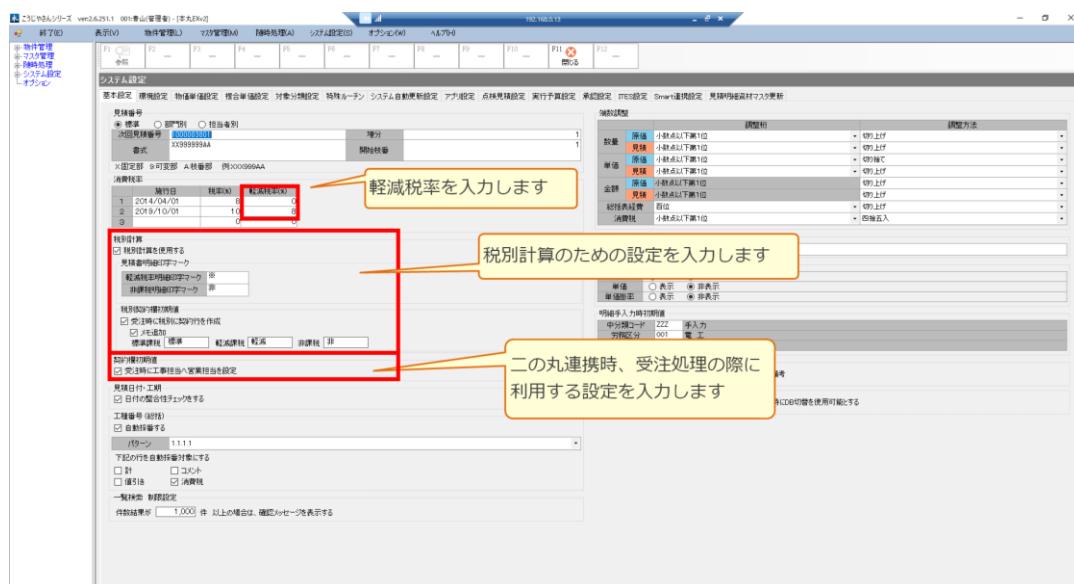
目次	2
1 : 事前準備	3
2 : 見積金額の消費税を軽減税率・非課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。	5
3 : 二の丸連携時、受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。	9
4 : 【点検見積オプション】非課税品目を見積に含めることができるようになりました。	11
5 : 【点検見積オプション】受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。	16
6 : 親子の明細で、親行のみ選択した状態で親子のセットを削除できるようになりました。	20
7 : 物件を再利用する時、複写したい項目を設定できるようになりました。	22
8 : 二の丸側で工事台帳の見積番号を削除しなくても、本丸で工事解除できるように改善しました。	25
9 : 【二の丸連携あり】「受注処理」画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができるようになりました。	28
10 : 【二の丸連携あり】受注処理後に「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになりました。	31
11 : 【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。	33

1：事前準備

ステップ1. [システム設定] - [システム設定]をクリックします。

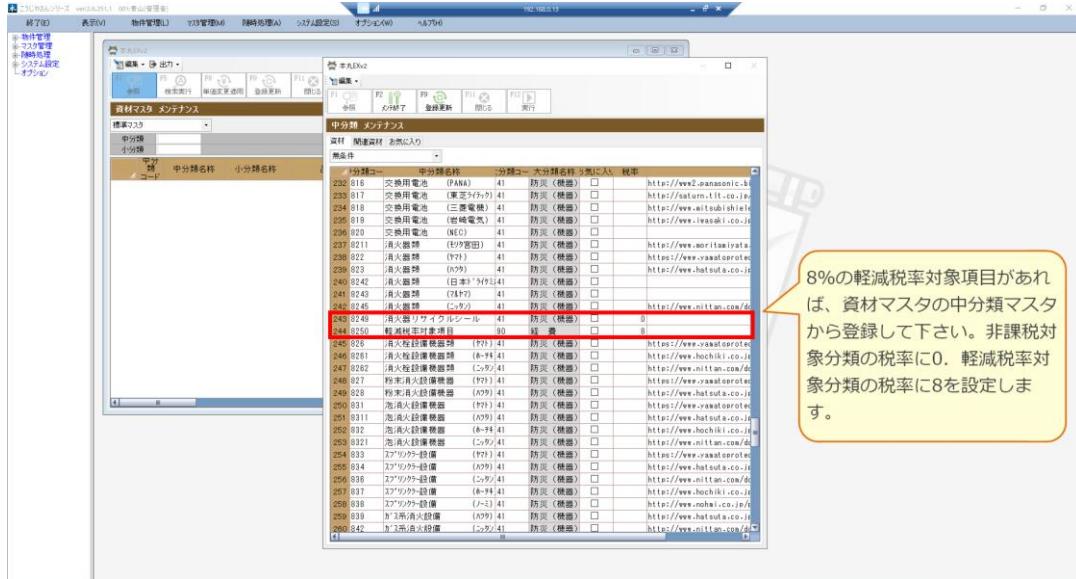


ステップ2. 消費税率の軽減税率、税別計算、契約欄初期値が追加されました。



ステップ3. 8%の軽減税率対象項目があれば、税率を登録します。

[マスタ管理]-[見積関連マスタ]-[中分類名マスタ]をクリックします。



8%の軽減税率対象項目があれば、資材マスタの中分類マスタから登録して下さい。非課税対象分類の税率に0、軽減税率対象分類の税率に8を設定します。

課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

2：見積金額の消費税を軽減税率・非課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

ステップ1. 見積の明細画面を開きます。

[F2 資材選択]より資材を選択します。



(例) [F2資材選択]より資材を選択します。
1行目に非課税対象分類(税率0%)の資材、
2行目に軽減税率対象分類(税率8%)の資材、
3行目に課税対象分類(税率10%)の資材を選択します。

課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

ステップ2. 見積の表紙画面を開きます。

「□税別計算」にチェックを付けると、見積金額を中分類に設定した税率別に集計して消費税が表示されます。

通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

(A)

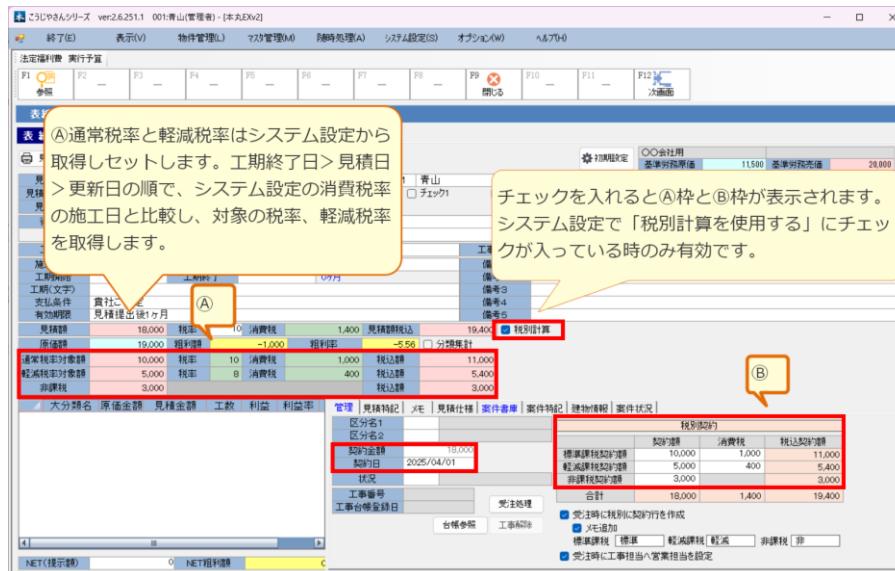
通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

工期終了日> 見積日> 更新日の順で、システム設定の消費税率の施工日と比較し、対象の税率、軽減税率を取得します。

Ⓐ各対象額は明細の金額を集計し自動でセットします。

見積明細の中分類コードから中分類マスタの税率を取得します。

- ・通常税率対象・・・中分類マスタの税率が空白と、0 と 8 以外の明細
- ・軽減税率対象・・・中分類マスタの税率が 8 の明細
- ・非課税・・・中分類マスタの税率が 0 の明細



課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

ステップ3. 見積書（明細付）を印刷します。

軽減税率課税額合計・消費税と非課税額合計を帳票に出力するパラメータを設けました。

また、見積書の明細に軽減税率対象と非課税対象の明細行にシステム設定で設定した

それぞれのマークを出力することもできます。

【表紙印刷部】

印刷パラメータ名

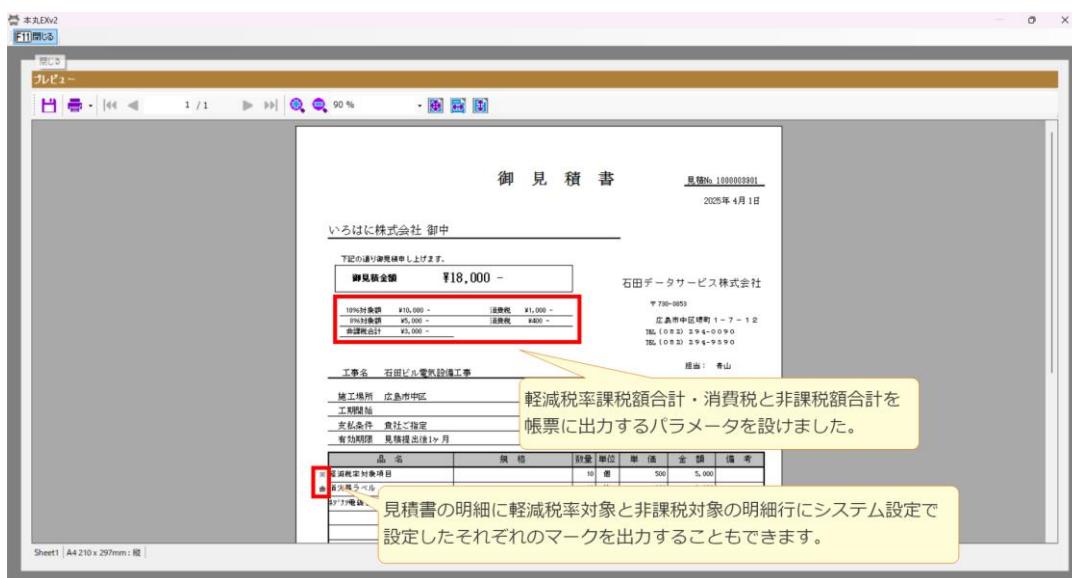
- | | |
|---------------|-------------------------|
| ① 「標準課税額合計」 | **h_hyojuntaisyo |
| ② 「標準消費税額」 | **h_hyojunsyohizei |
| ③ 「軽減税率課税額合計」 | **h_keigentaisyo |
| ④ 「軽減税率消費税額」 | **h_keigensyohizei |
| ⑤ 「非課税額合計」 | **h_hikazei |
| ⑥ 「軽減税率」 | **h_keigensyohizeiritsu |

【明細印刷部】

印刷パラメータ名

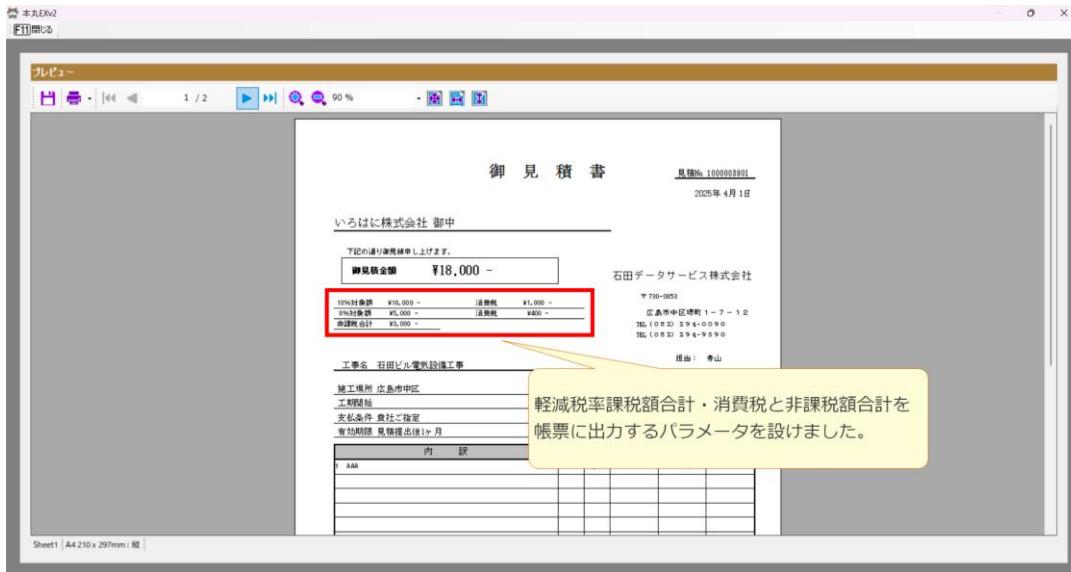
- | | |
|------------|----------------|
| ① 「税区分マーク」 | **h_zeimark01～ |
| | **s_zeimark01～ |
| | **m_zeimark01～ |

(軽減税率対象と非課税対象の明細にシステム設定より取得した「固定文字」をセットします)

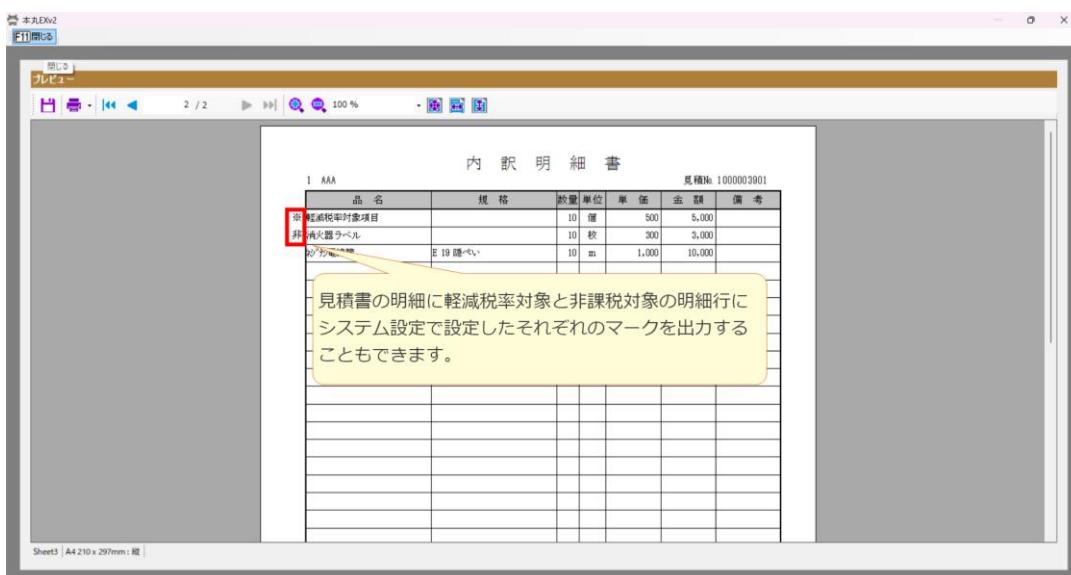


課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

ステップ4. 見積書（総括付）を印刷します。



ステップ5. 見積書（総括付）を印刷します。



3：二の丸連携時、受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

ステップ1．税別契約欄を表示します。

Ⓐ

通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

工期終了日> 見積日> 更新日の順で、システム設定の消費税率の施工日と比較し、対象の税率、軽減税率を取得します。

Ⓑ

税別契約を表示させると通常の契約金額は入力不可となります。

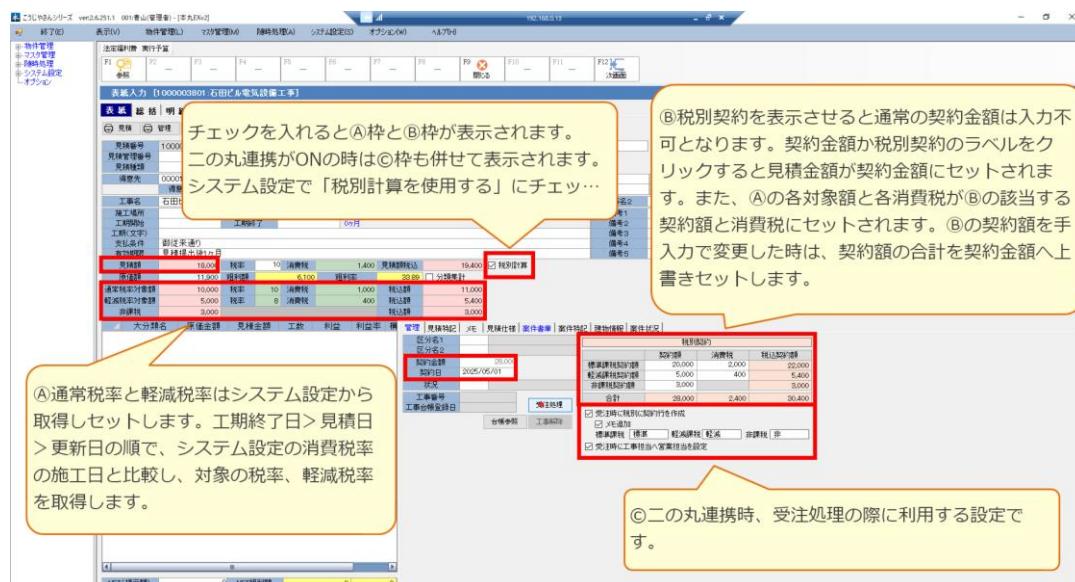
契約金額か税別契約のラベルをクリックすると見積金額が契約金額にセットされます。

また、Ⓐの各対象額と各消費税がⒷの該当する契約額と消費税にセットされます。

Ⓑの契約額を手入力で変更した時は、契約額の合計を契約金額へ上書きセットします。

Ⓒ

二の丸連携時、受注処理の際に利用する設定です。

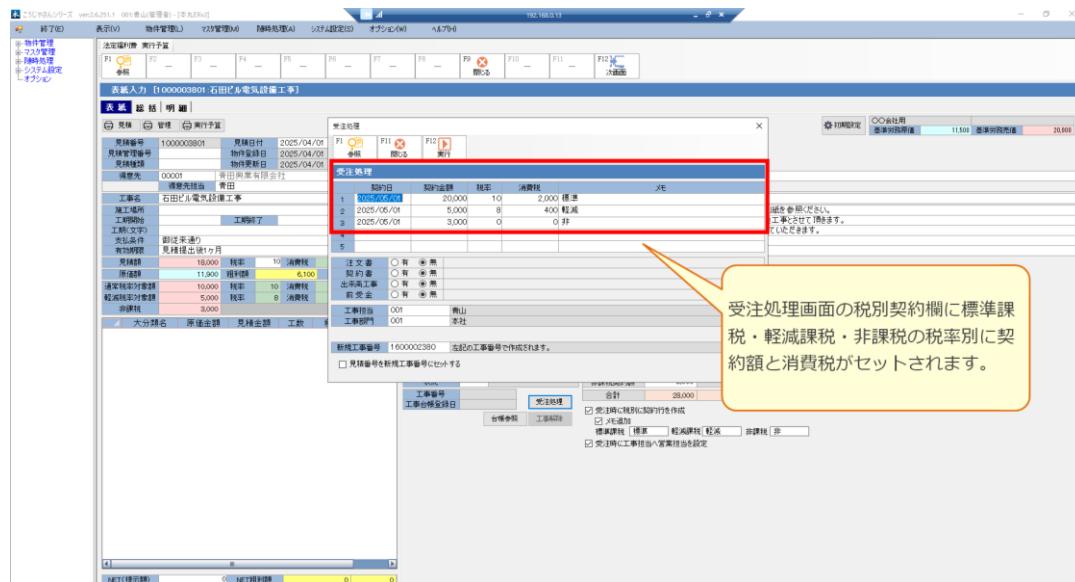


Ⓐ通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。工期終了日> 見積日> 更新日の順で、システム設定の消費税率の施工日と比較し、対象の税率、軽減税率を取得します。

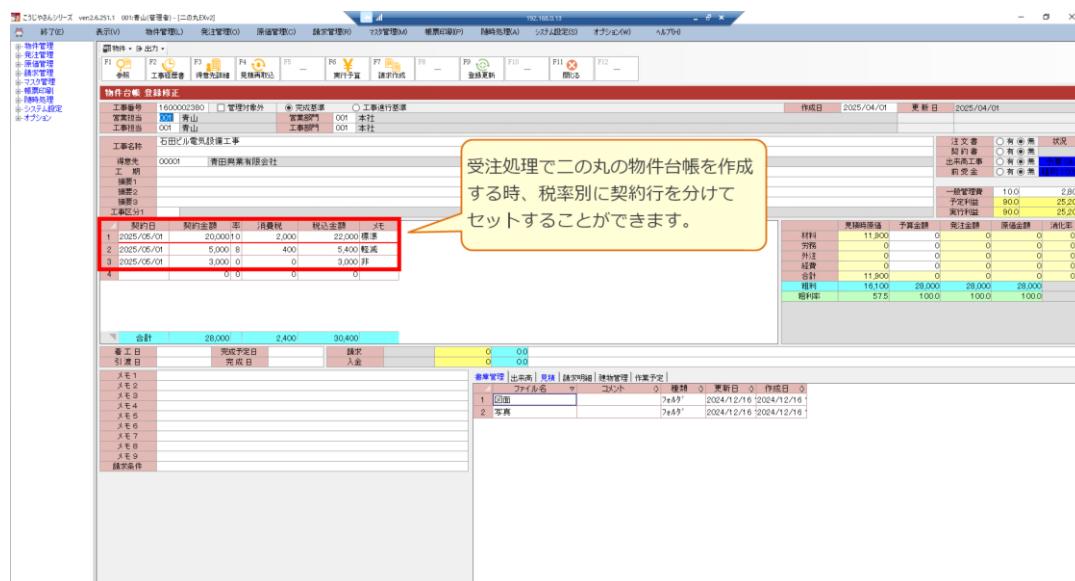
Ⓑ税別契約を表示させると通常の契約金額は入力不可となります。契約金額か税別契約のラベルをクリックすると見積金額が契約金額にセットされます。また、Ⓐの各対象額と各消費税がⒷの該当する契約額と消費税にセットされます。Ⓑの契約額を手入力で変更した時は、契約額の合計を契約金額へ上書きセットします。

Ⓒ二の丸連携時、受注処理の際に利用する設定です。

ステップ2. 受注処理画面を開きます。



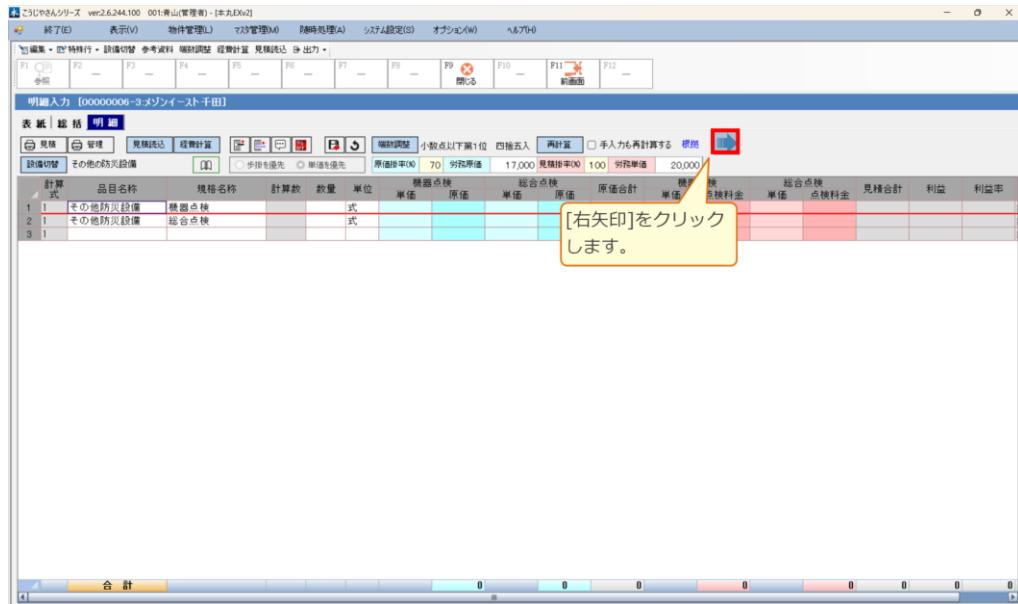
ステップ3. 受注処理で二の丸の物件台帳を作成します。



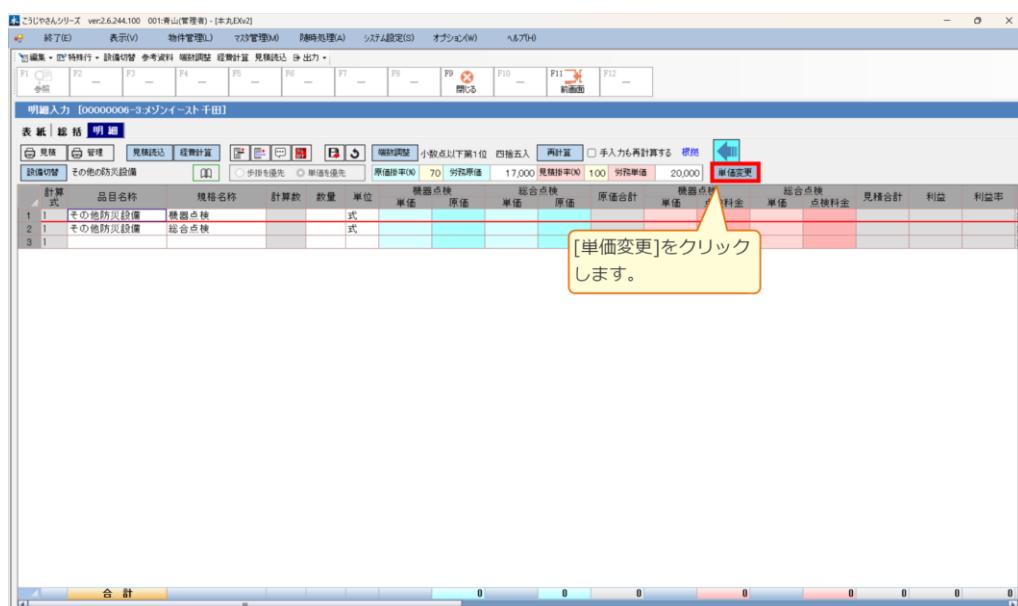
4：【点検見積オプション】非課税品目を見積に含めることができるようになりました。

ステップ1. 点検見積の明細画面で根拠を表示します。

明細入力画面を開いて〔右矢印〕ボタンをクリックします。

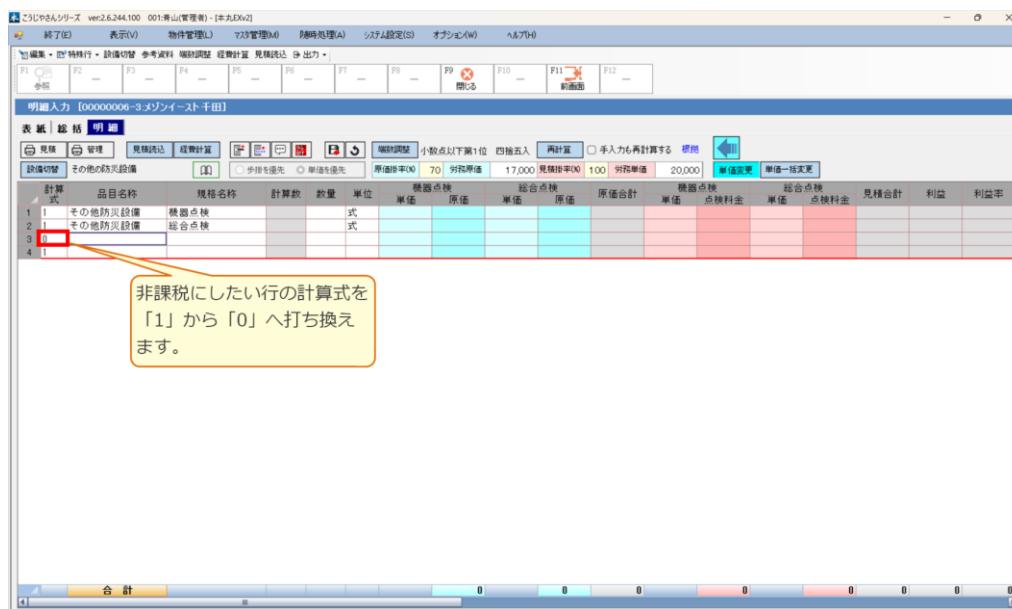


ステップ2.[単価変更]を実行します。

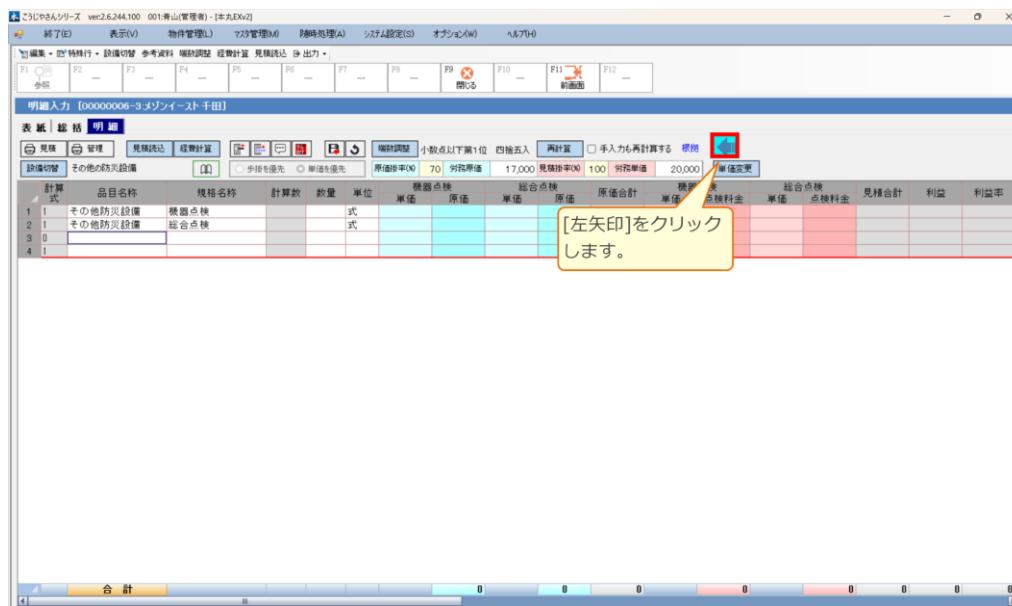


目を見積に含めることができるようになりました。

ステップ3. 計算式を「1」から「0」へ打ち換えます。

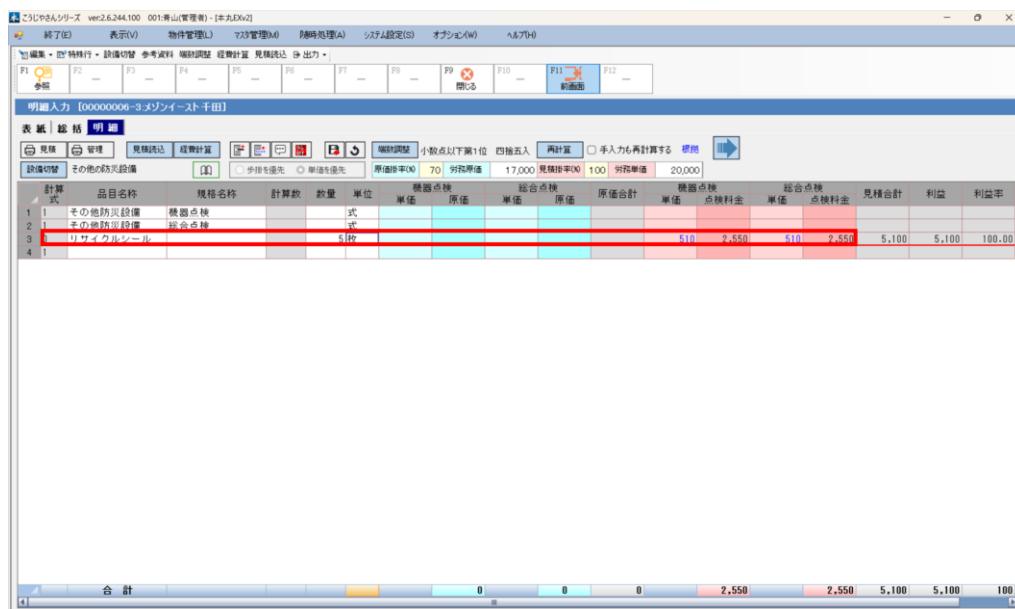


ステップ4. [左矢印]をクリックします。

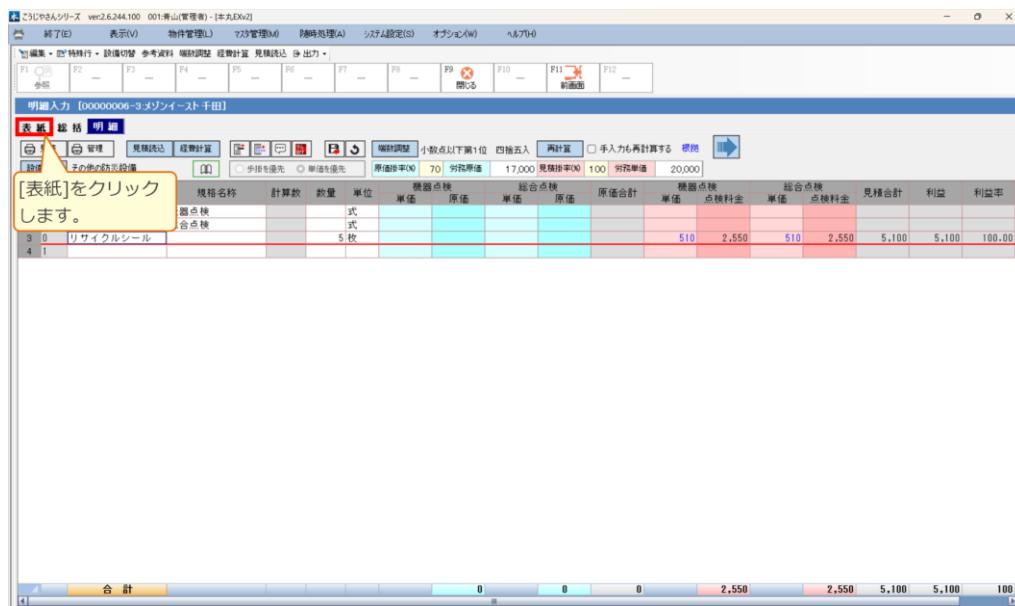


目を見積に含めることができますようになりました。

ステップ 5. 品目名称や規格名称、数量や単価を入力します。



ステップ 6. [表紙]をクリックします。



ステップ7. 見積額が課税額と非課税額で表示されている事を確認します。

ごくじやかシリーズ ver.2.6.244.100 001:東山(菅原町) : [本丸Dv2]

終了日 表示(V) 物件管理(U) マネジメント(M) 附帯処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

戻る 閉じる 決算

表單入力 [00000006-3:ゾンビースト千田]

表單 詳細 | 明細

見積機関

見積機関番号	00000006-3	見積日付	2022/04/01	担当者名	部門	TENKENA002	点検料金基準(標準/官厅) 建築保全業務算算額(平成30年)
見積管理番号	標準(A:官厅)	物件登録日	2025/04/01	確定申告	チェック1	チェック2	チェック3
見積登録番号		物件更新日	2025/04/03	代表見積			

得意先 00011 ナカヤマリ株式会社

得意先担当

建物名 マリビースト千田

工事名 マリビースト千田

工事名2 <点検料金基準(標準/官厅) 建築保全業務算算額(平成30年版)

施工場所 広島市中区

工期開始 2022/05/01 工期終了 2022/05/01 0ヶ月

工期(年) 0

支払条件 御注文通り

有効期限 30日

備考

機器点検 計合点検

見積額	105,100	機器金額	82,550	総合金額	82,550
原価額	112,000	機器原価	56,000	総合原価	56,000
粗利額	53,100	利益	26,550	利益	26,550
粗利率	22	率	32	率	32

課税合計	160,000	機器用課税	2,550	総合用課税	2,550
税率	10 <input type="checkbox"/> 10% <input checked="" type="checkbox"/>	消費税	16,000	見積額込込	181,100

NET(提示額) 0

NET(税額) 0

利回り 0

見積額が課税額と非課税額で表示されている事を確認します。

管理 | 見積機関2 | メモ | 見積仕様 | 案件書庫 | 案件特記 | 建物情報 | 案件状況 |

区分名1

区分名2

粗利額	機器金額	0	課税額	0	非課税	0
機器原価	機器合計	0	課税額	0	非課税	0
粗利合計	総合金額	0	課税額	0	非課税	0

状況

工事登録日

工事登録日

台帳参照 案件処理 工事解説

1行で機器作成 機器点検と結合会員の契約登録で作成 機器点検モード 総合点検モード

機器点検と結合会員の契約登録で作成 機器点検モード 総合点検モード

非課税項目を別途作成 案件登録時工事担当へ営業担当を設定

目を見積に含めることができるようになりました。

ステップ 8 . 見積書を出力した時も見積額が課税額と非課税額で表示されている事を確認します。

見積書テンプレート以下のパラメータ値を与える事で印刷時に項目を追加出力する事ができます。

「機器課税額」 **h_kikikazei 「総合課税額」 **h_sougokazei

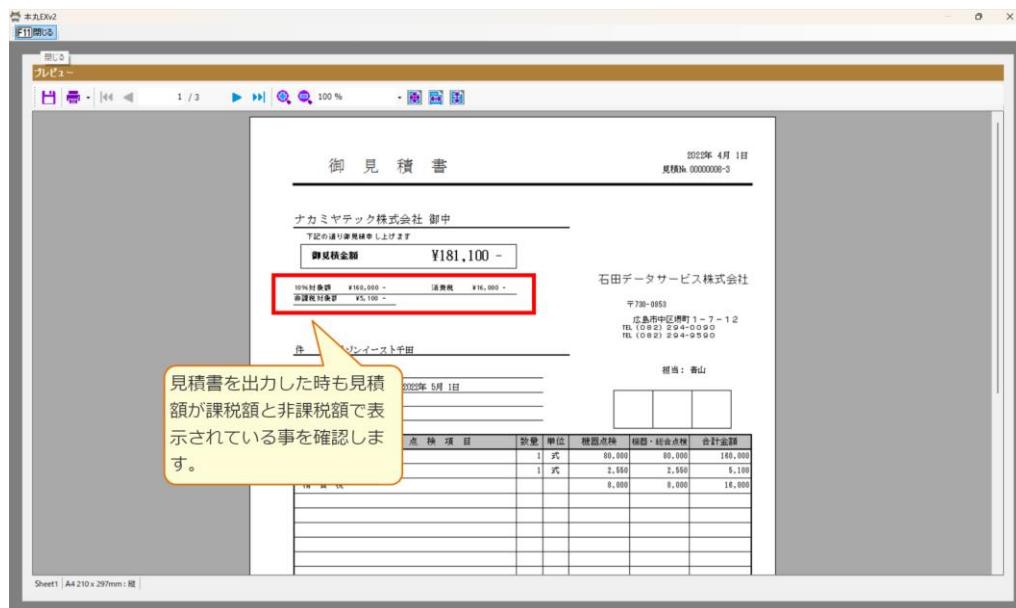
「機器非課税額」 **h_kikihikazei 「総合非課税額」 **h_sougothikazei

物件総括テンプレートの場合は以下のパラメータ値になります。

「課税額合計」 **bh_kazei 「非課税額合計」 **bh_hikazei

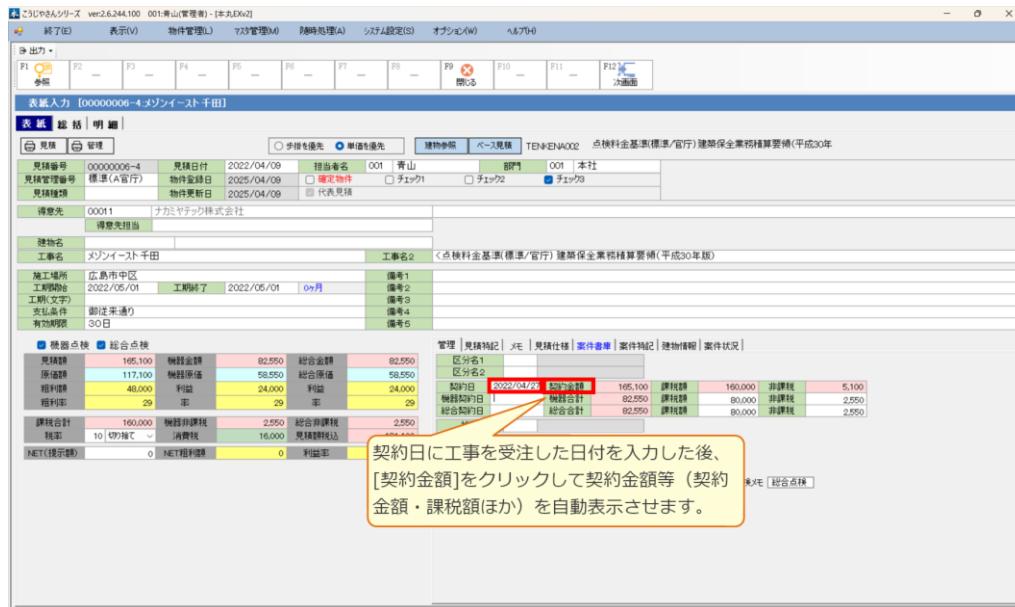
「機器課税額」 **bh_kikikazei 「総合課税額」 **bh_sougokazei

「機器非課税額」 **bh_kikihikazei 「総合非課税額」 **bh_sougothikazei



5：【点検見積オプション】受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

ステップ1. 契約日に工事を受注した日付と契約金額を入力します。



The screenshot shows the software interface for managing inspection estimates. The main window title is 'Tenki-ken' (ver.2.6.252.1). The 'Contract Date' field (契約日) is highlighted with a yellow box, showing the value '2022/04/09'. The 'Contract Amount' field (契約金額) is also highlighted with a yellow box, showing the value '160,000'. A callout box with a yellow border and orange arrow points to these fields with the text: '契約日に工事を受注した日付を入力した後、[契約金額]をクリックして契約金額等（契約金額・課税額ほか）を自動表示させます。' (After entering the contract date, click on [Contract Amount] to automatically display the contract amount and other values such as tax amounts). Other visible fields include 'Inspection Date' (見積日), 'Inspection Number' (見積番号), 'Customer' (得意先), and 'Building Name' (建物名).

で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

ステップ2. [受注処理]をクリックします。

税別契約欄の設定 (①と②に関しては、どちらかのみ選択できます。)

① 「1行で契約を作成」

二の丸の物件台帳の契約金額に契約合計額（機器点検と総合点検の契約合計額）を表記します。

② 「機器点検と総合点検を別行で作成」

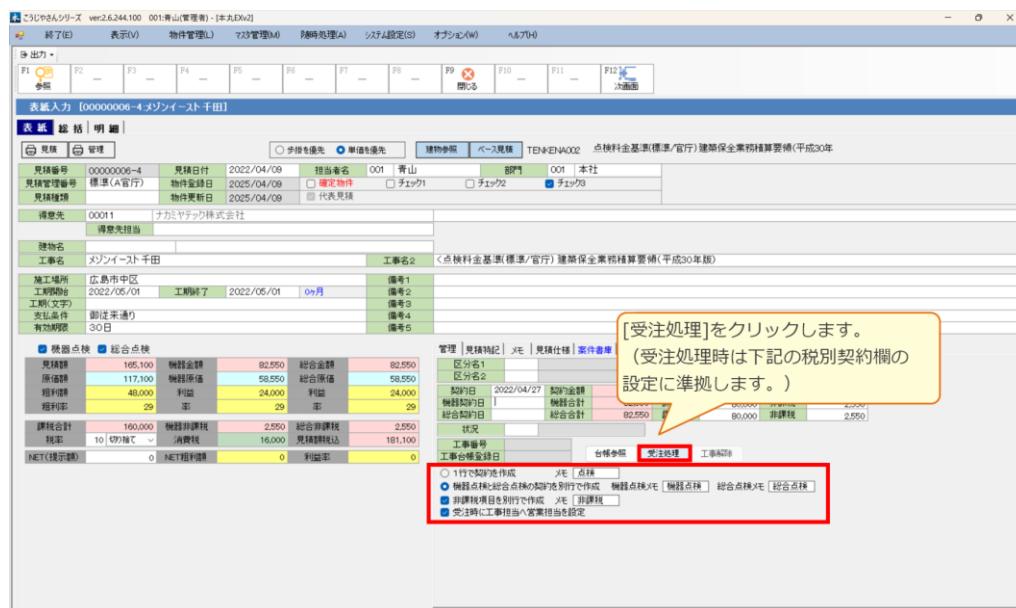
二の丸の物件台帳の契約金額に機器点検と総合点検の契約額をそれぞれ別行で表記します。

③ 「非課税項目を別行で作成」

非課税項目がある場合は、二の丸の物件台帳の契約金額に別行で表記します。

④ 「受注時に工事担当へ営業担当を設定」

担当者名を二の丸の物件台帳の担当者（工事担当）へ表記します。

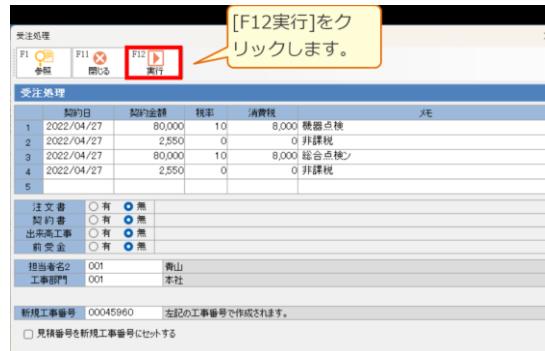


で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

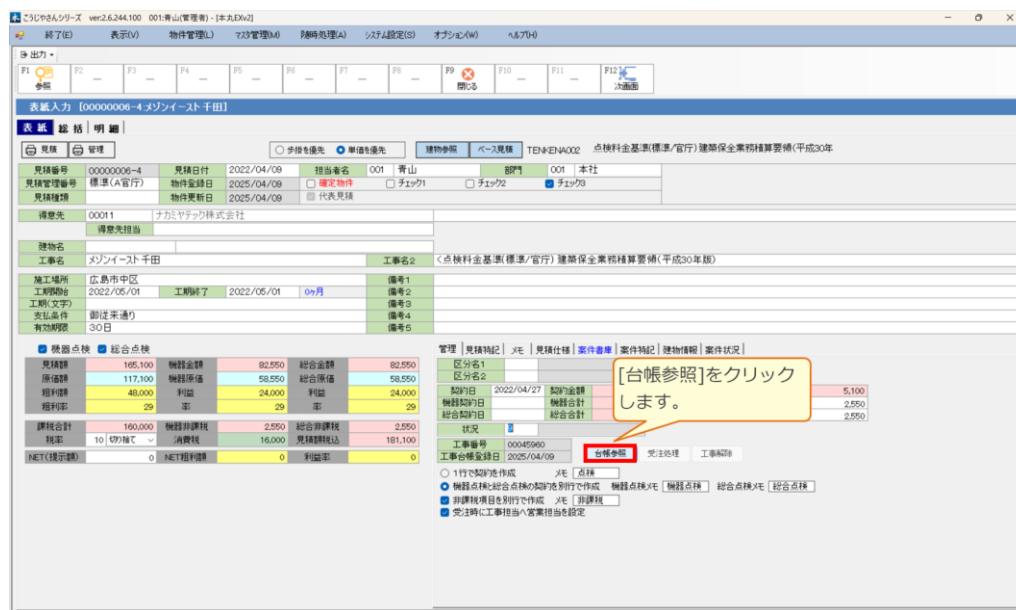
ステップ3. 契約内容を確認して[F12 実行]をクリックします。

この契約内容は税別契約欄の設定の②「機器点検と総合点検を別行で作成」および

③「非課税項目を別行で作成」にチェックを入れて [受注処理]をクリックした場合の内容です。



ステップ4. 作成された物件台帳を確認するため[台帳参照]をクリックします。



で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

ステップ 5. 物件台帳を確認します。

二の丸EXv2

物件台帳 登録修正

工事番号	00045960	管理対象外	<input type="radio"/> 完成差算	<input type="radio"/> 工事進行差算	作成日	2025/04/09	更新日	2025/04/09
担当者名	001 青山	官業部門	001 本社					
担当者名2	001 青山	工事部門	001 本社					
工事名	メソフィース千田	<点検料金基準(標準)/官厅>建築保全業務核算要領(平成30年版)			注文書	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	既況	
受注者	00001 ナカミヤツク株式会社				契約書	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	施工遅れ	
工期					出荷延滞	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	不買	
施工場所	広島市中区				納期受金	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
支払条件					一般管理費	5.0	8,255	
有効期限					予定利益	95.0	156,845	
工事区分1					実行利益	95.0	156,845	
工事区分2								
契約日	契約金額	率	消費税	総込金額	メモ			
1 2022/04/27	80,000	10	8,000	88,000	機器点検			
2 2022/04/27	2,550	0	0	2,550	非課税			
3 2022/04/27	80,000	10	8,000	88,000	総合点検			
4 2022/04/27	2,550	0	0	2,550	非課税			
合計	165,100		16,000	181,100				
着工日	2022/05/01	完成予定日	2022/05/01	請求入金	0 0.0			
引渡し日	完成日				0 0.0			
メモ1								
メモ2								
メモ3								
メモ4								
メモ5								
メモ6								
メモ7								
メモ8								
メモ9								
請求書件								

見括時原価 予算金額 完了金額 廉価金額 消化率

材料	0	0	0	0
工賃	0	0	0	0
外注	0	0	0	0
経費	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
粗利	165,100	165,100	165,100	165,100
粗利率	100.0	100.0	100.0	100.0

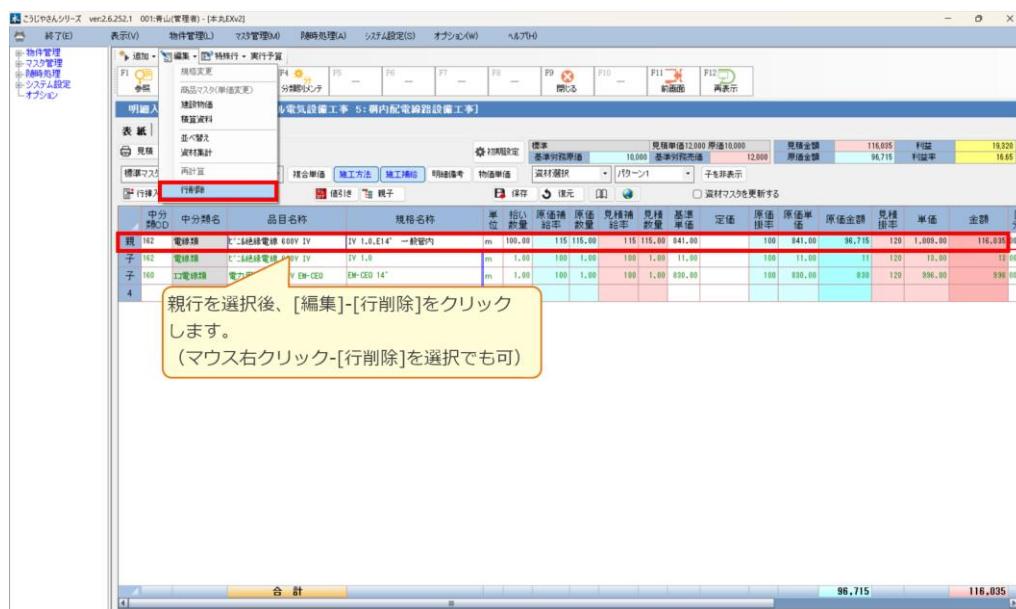
書類管理 | 出手書 | 単種 | 総括明細 | 建物管理 | 実行承認 | 作業予定 |

ファイル名	※	コメント	種類	更新日	作成日
1 団体		7月6日		2025/04/09 (2025/04/09)	2025/04/09
2 写真		7月6日		2025/04/09 (2025/04/09)	2025/04/09

6：親子の明細で、親行のみ選択した状態で親子のセットを削除できるようになりました。

ステップ1．削除したい親子設定の親行を選択します。

今まででは親子設定の親行のみを選択して削除しようとすると「子行があるため削除できません。」とメッセージが出て削除不可になっていましたが、Ver.2.6.252.1 以降は親行のみの選択で子行やコメント行を含めて削除が可能になりました。

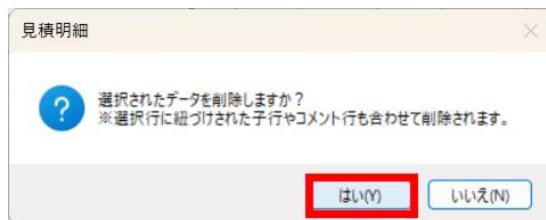


ステップ2．[はい]をクリックします。

選択したデータの削除の可否を訊いてきます。

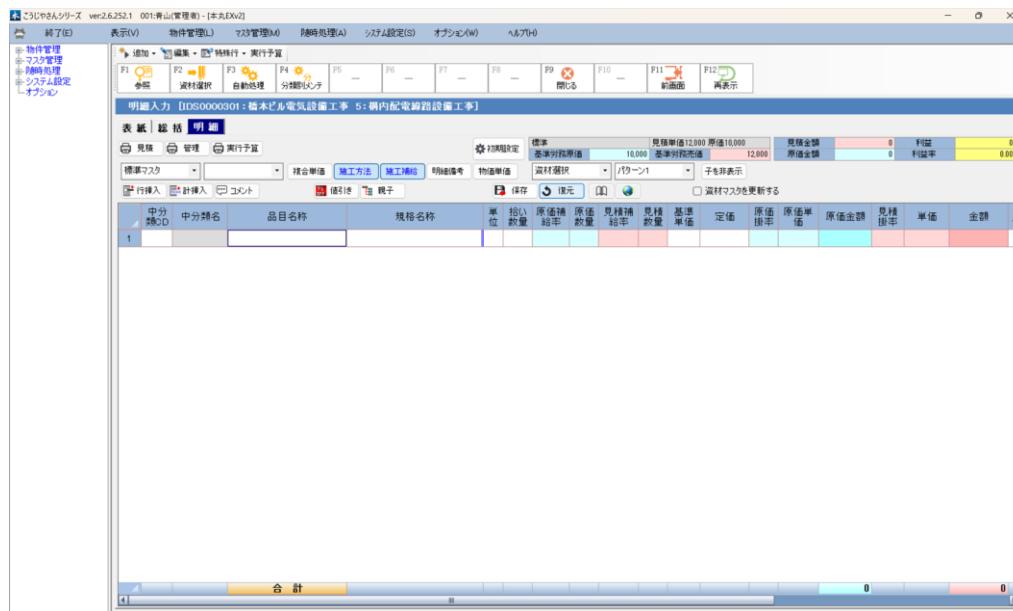
[はい]をクリックします。

[はい]を選択すると紐づけされた子行やコメント行も合わせて削除されますので気を付けてください。



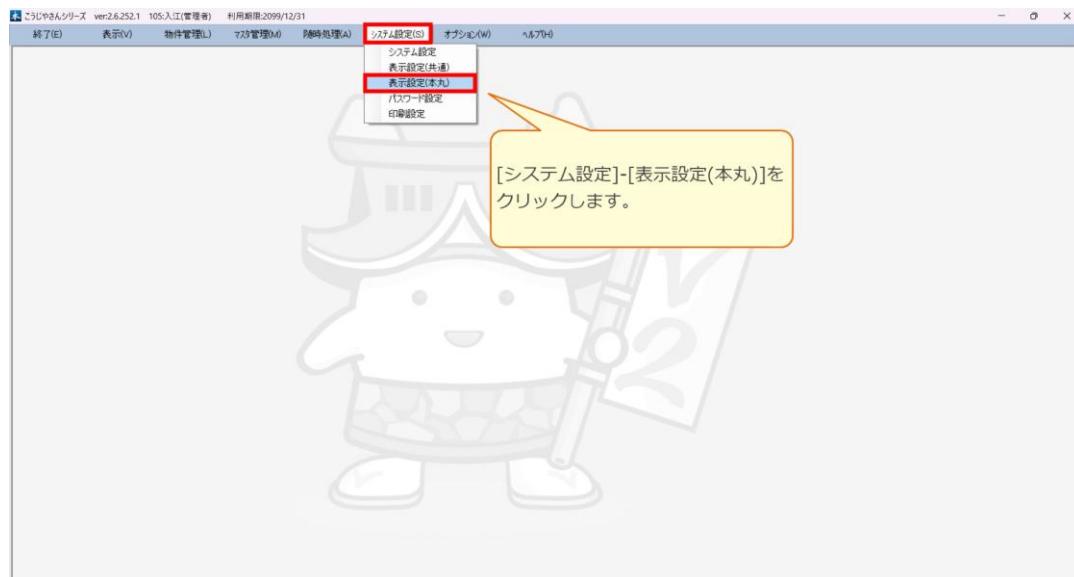
状態で親子のセットを削除できるようになりました。

ステップ3. 親行・子行（コメント行があればこちらも）消えた事を確認します。



7: 物件を再利用する時、複写したい項目を設定できるようになりました。

ステップ1. [システム設定] - [表示設定(本丸)]をクリックします。



ステップ2. [物件一覧]を開きます。



項目を設定できるようになりました。

ステップ3. 複写したい項目にチェックを付けます。

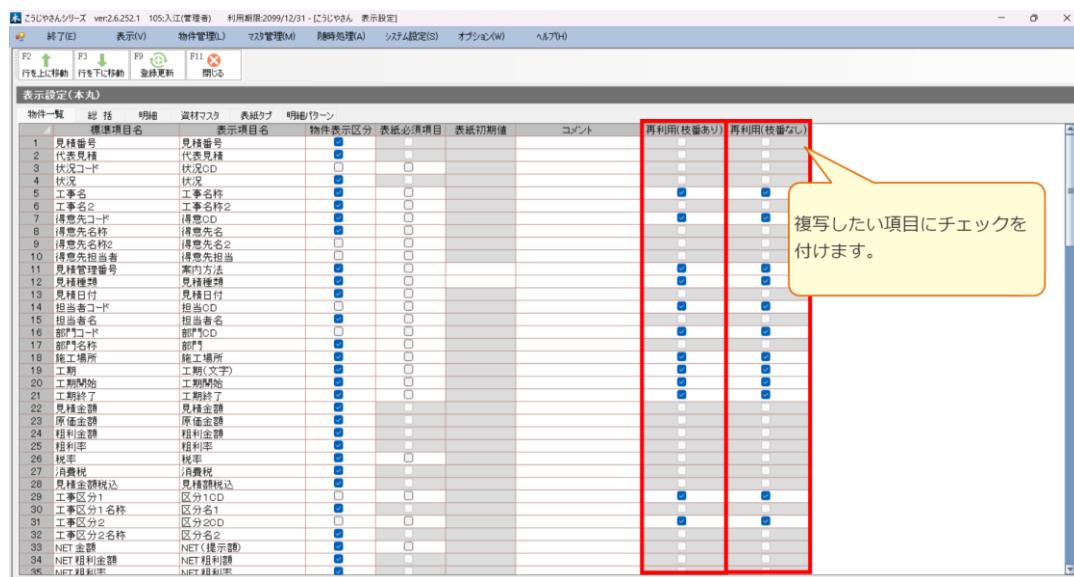
[再利用(枝番あり)]と[再利用(枝番なし)]の2項目から再利用項目を別々に設定します。

複写したい項目にチェックを付けます。

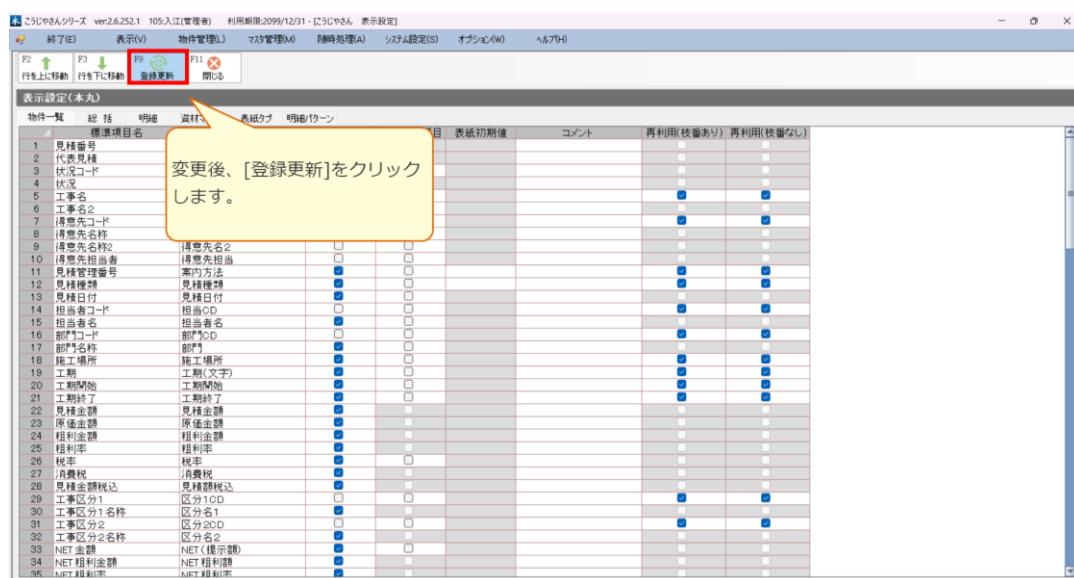
システム上、複写できない項目はチェックを付けることができません。

コードと名称がある項目は、コードのみチェックを付けることで、コードと名称両方を複写対象にします。

また、コードが未入力で名称のみ入力されている場合も複写します。

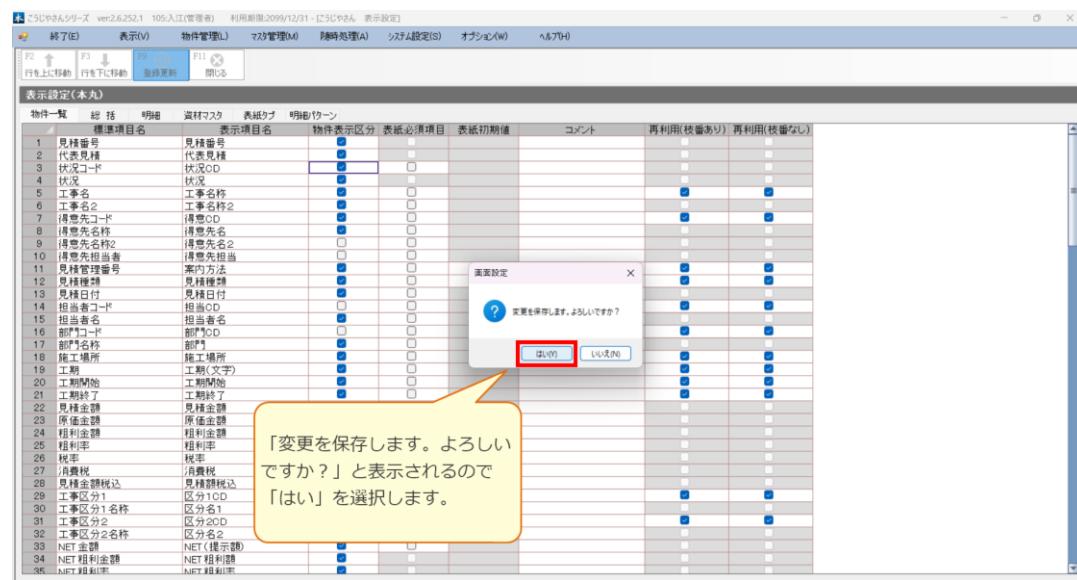


ステップ4. 変更後、[登録更新]をクリックします。



項目を設定できるようになりました。

ステップ 5. 「変更を保存します。よろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。



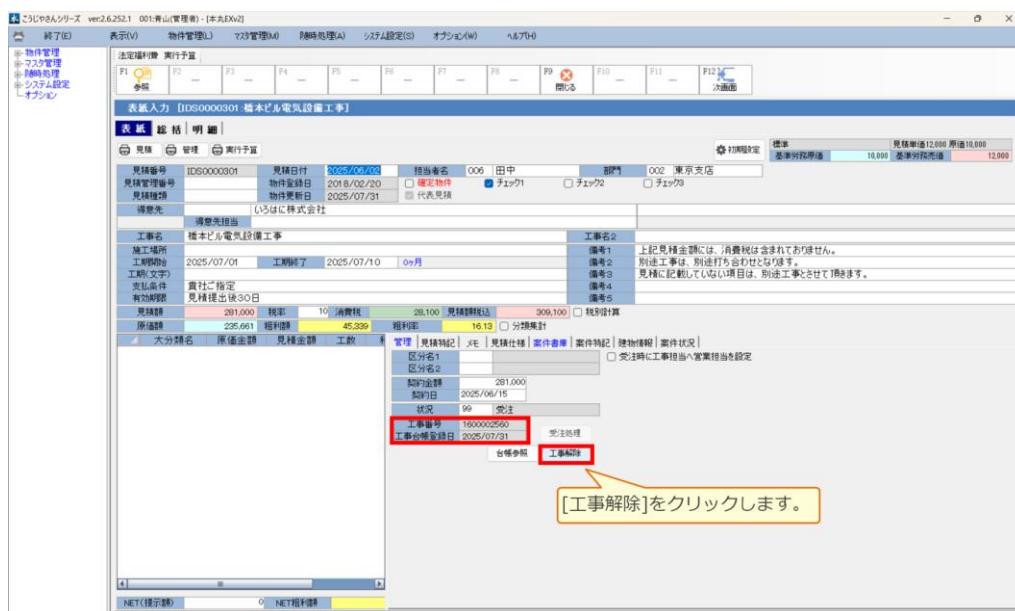
8：二の丸側で工事台帳の見積番号を削除しなくても、本丸で工事解除で きるよう改善しました。

ステップ1. [工事解除]をクリックします。

今まで二の丸側で工事台帳の見積番号を削除すると工事解除ができるようになっていましたが、Ver.2.6.252.1 以降は二の丸側で工事台帳の見積番号の削除に関わらず、本丸で工事解除が可能になりました。

【[工事解除]ボタンが有効になる条件】

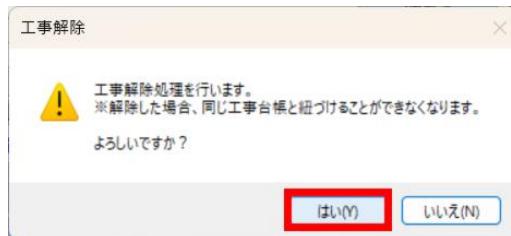
- 受注処理の実行権限を有している事
([システム設定]-[パスワード設定]-[パスワード設定]-
物件一覧の詳細設定で「受注処理を不可にする」にチェックが付いていない事)
- 紐付いている工事台帳が未完工事である事
- 紐付いている工事台帳の実行承認状態が未申請である事



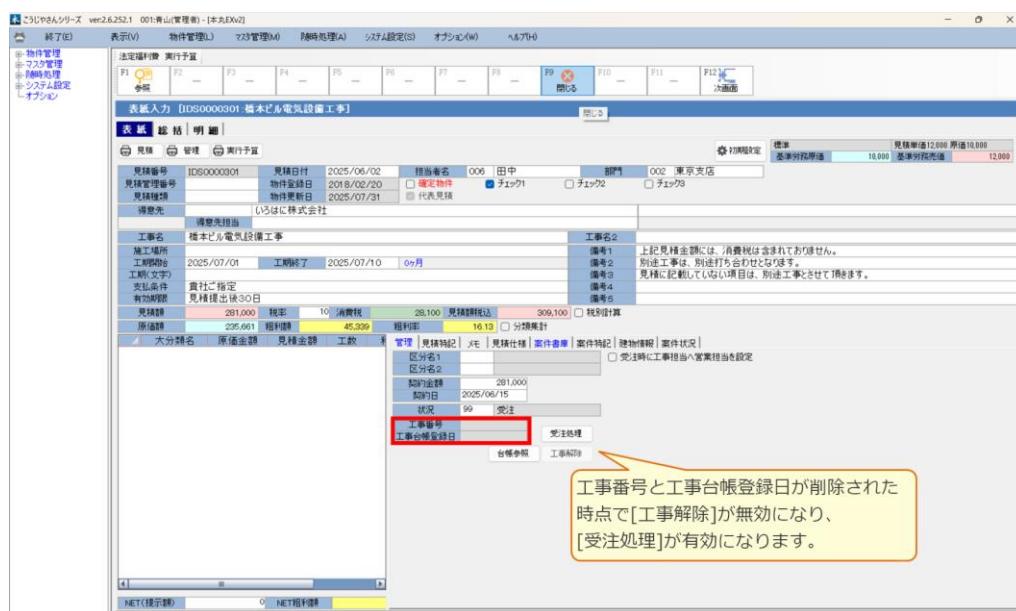
ステップ2. [はい]をクリックします。

工事解除処理の可否を訊いてきます。

[はい]をクリックします。

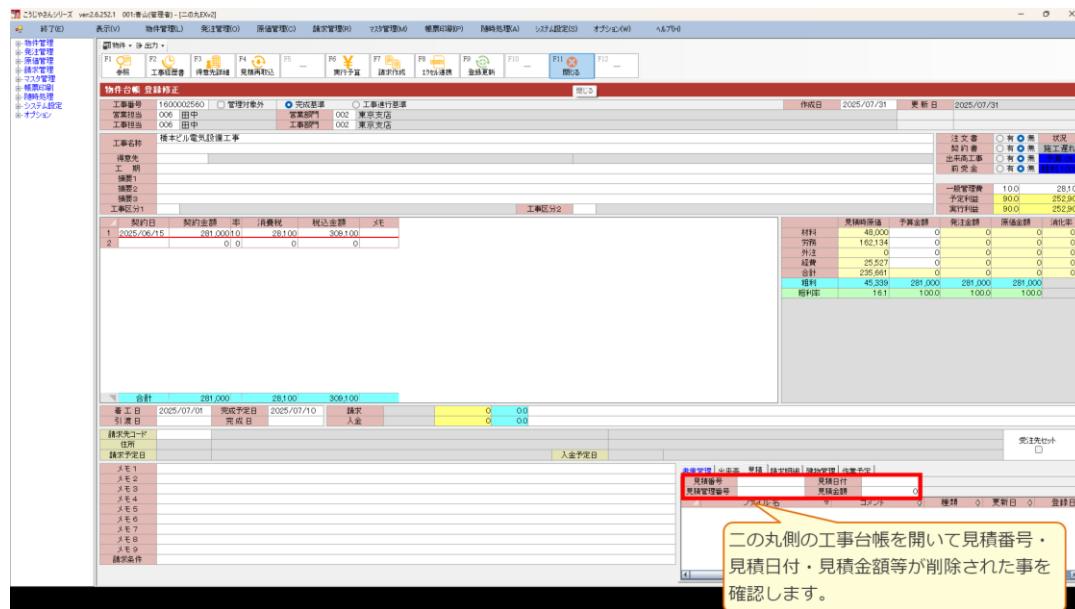


ステップ3. 工事番号と工事台帳登録日が削除された事を確認します。



削除しなくても、本丸で工事解除できるように改善しました。

ステップ 4. 二の丸側の工事台帳を開いて見積情報が消えた事を確認します。



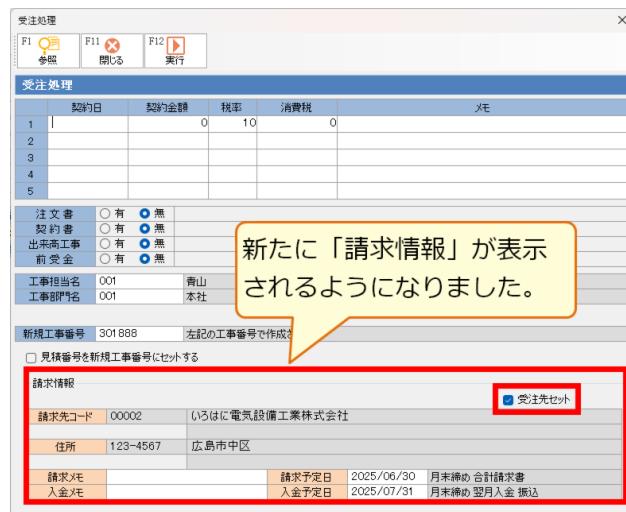
画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

9：【二の丸連携あり】「受注処理」画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

ステップ1. 「受注処理」画面

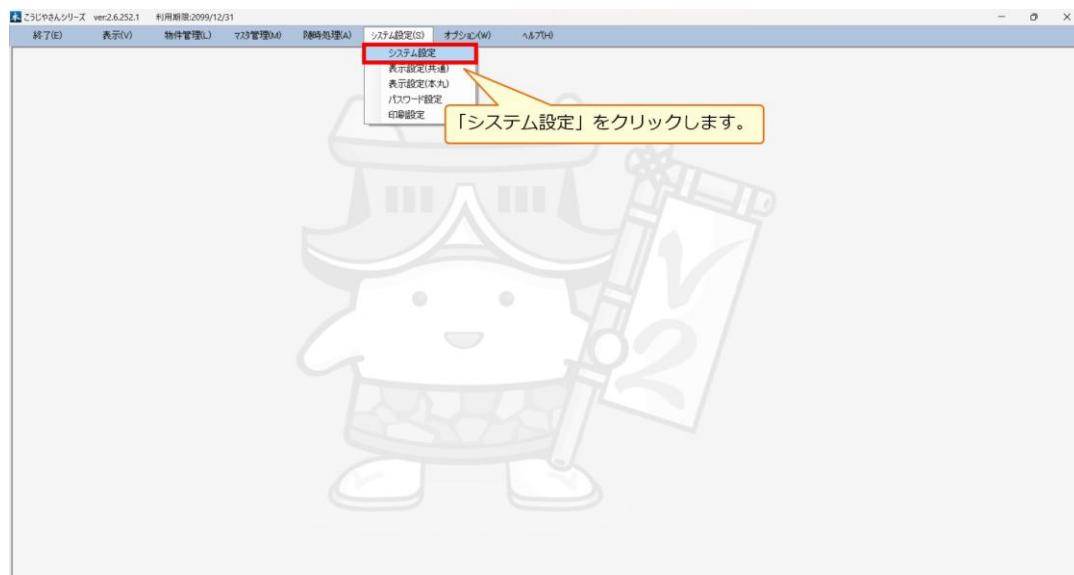
二の丸の「物件台帳」に「請求先情報」欄が追加されたことに伴い、
本丸から「受注処理」を行う際に、「得意先」と「請求先」が異なる場合など、
あらかじめ「請求先情報」を入力しておくことで、物件台帳に反映させることができます。

「得意先」と「請求先」が同じ場合は、「団受注先セット」にチェックを付けることで、
「受注先（得意先）」の情報をセットします。



画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

ステップ2. 設定方法は、[システム設定(S)]-[システム設定]をクリックします。



ステップ3. [システム設定]-[特殊ルーチン]タブをクリックします。

「□受注時に請求情報を登録する」にチェックを付けると「請求先情報」欄が表示されます。

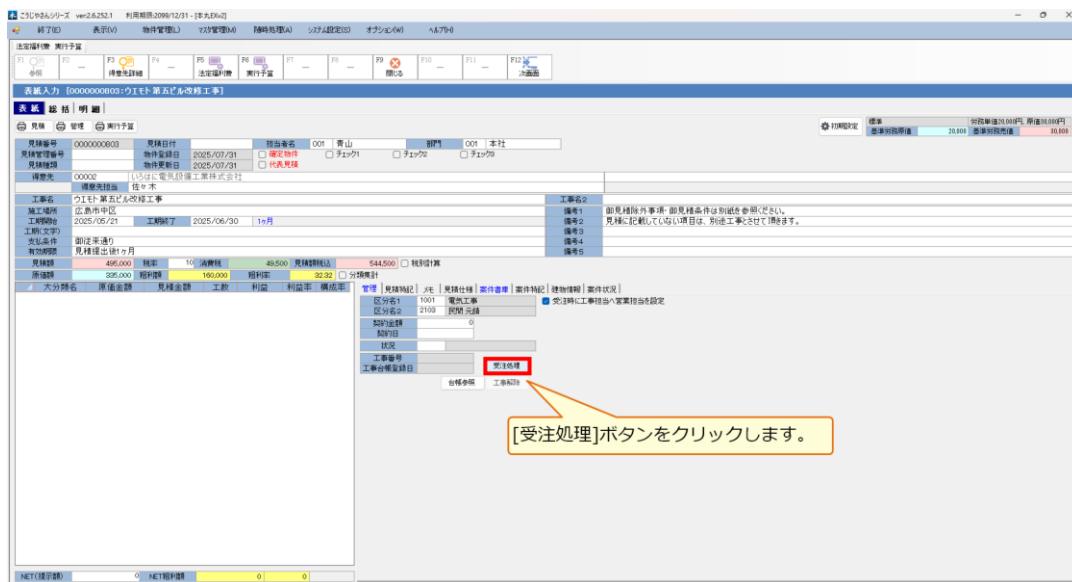
ただし、二の丸側の「□物件台帳の請求先情報を使用しない。」にチェックが付いている時は、

この設定は無効状態になり、チェックを付けることはできません。



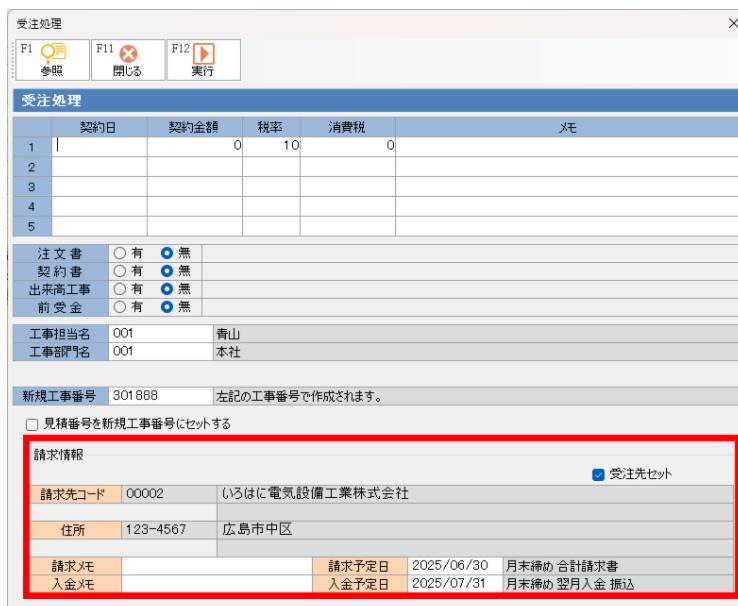
画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

ステップ4. 「表紙」入力画面の[受注処理]ボタンをクリックします。



ステップ5. 「受注処理」画面の下に「請求情報」が表示されました。

入力した内容は二の丸物件台帳の請求情報に反映します。



「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになりました。

10 : 【二の丸連携あり】受注処理後に「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになりました。

ステップ1. 「台帳参照」ボタンをクリックして「物件台帳登録修正」画面を開きます。

二の丸の「物件台帳」に「請求先情報」欄が追加されたことに伴い、

本丸の「台帳参照」でも下記条件により「請求先情報」欄が表示できるようになりました。

「得意先」と「請求先」が異なる場合の確認に便利です。

ステップ2. 設定方法は、「システム設定(S)」-「基本システム設定」をクリックします。

「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになります。
した。

ステップ3. [システム設定] - 「特殊ルーチン」タブをクリックします。

「□物件台帳の請求先情報を使用しない。」にチェックが付いている時は、

従来通り、「請求先情報」欄は表示されません。

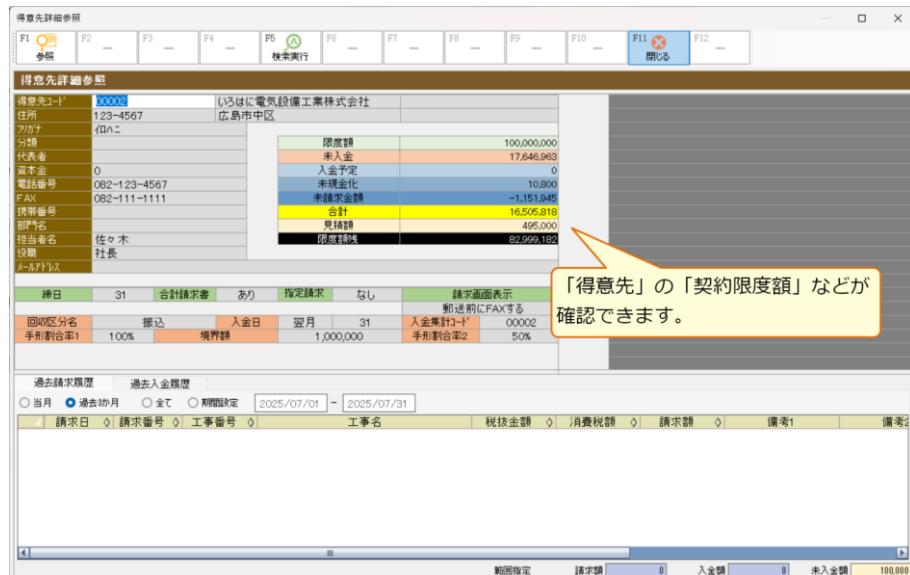


「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

11：【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

ステップ1. 「得意先詳細参照」画面

二の丸の「得意先詳細参照」に「契約限度額」の項目が追加されたことに伴い、本丸の表紙画面から「得意先詳細」画面を表示することができるようになりました。また、設定により「見積・受注承認」や「受注処理」を行う前に、「得意先詳細」画面を自動的に表示させて確認することもできます。
※「見積・受注承認」はオプション機能になります。



ステップ2. 設定方法は、[システム設定(S)]-[システム設定]をクリックします。



「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

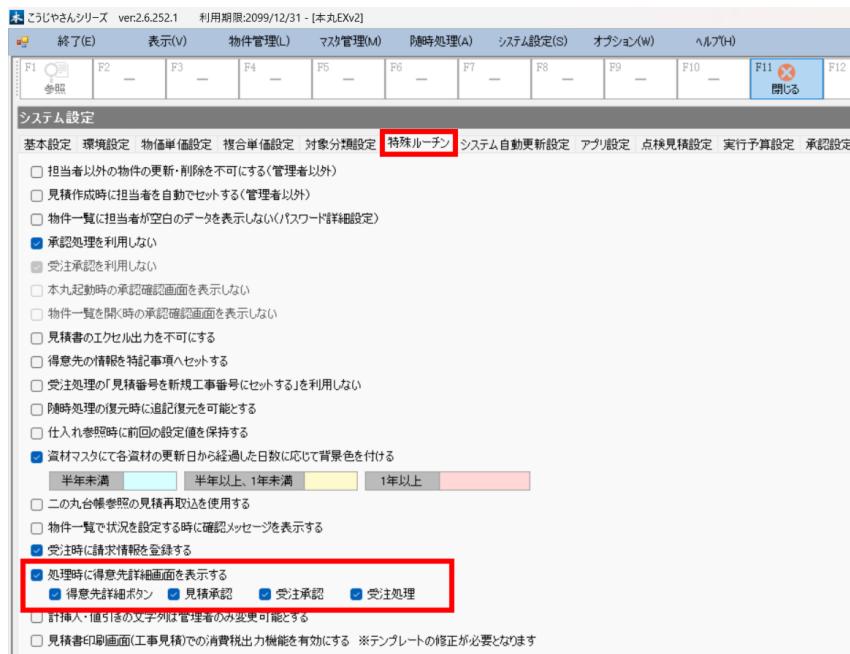
ステップ3. [システム設定]—[特殊ルーチン]タブをクリックします。

「□処理時に得意先詳細画面を表示する」にチェックを付けると、

それぞれチェックの付いた処理を実行する際に「得意先詳細画面」を表示します。

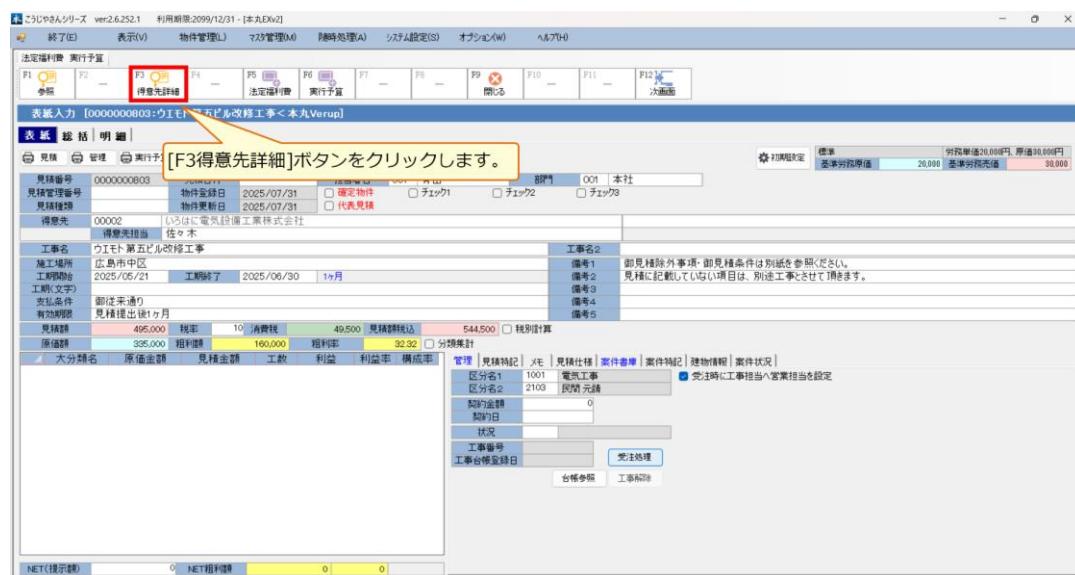
「□得意先詳細ボタン」にチェックを付けると、

表紙入力画面にファンクションキー[F3 得意先詳細]が表示されます。



ステップ4. 先ほどの設定により、「表紙」入力画面の[F3 得意先詳細]ボタンが表示されました。

「表紙」入力画面の[F3 得意先詳細]ボタンをクリックします。



「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

ステップ 5. 「得意先詳細参照」画面が表示されました。

